『日西芸術文化交流事業』

「一つの花フェスティバル」へのメッセージ

「一つの花フェスティバル」のコンセプトである日本の児童文学書「一つの花」は、ヒロシマを体験した今西祐行氏が、戦時下を背景に生きる少女の姿を借りて、いのちや平和を静かに語りかける作品であり、それは、何より幼い命とそれを育む社会の健やかな成育を願うわたしの思いと重なるところである。

日西の人々が文化と芸術にこころ深くして、まず、それぞれの足元のこどもたち大人たちが平和に生きて行くことができ、その輪が国際親善へとひろがってゆき、この不条理のはびこる世界へきらりとした光明を灯すことになればと、こころから応援するものである。

一つの花フェスティバル　名誉プロデューサー

日野原　重明（聖路加国際病院理事長）

CONTENTS：

“日西の文化と音楽のお祭り”…

一つの花フェスティバルは、日本の児童文学書・今西祐行作「一つの花」という作品の名前に由来します。いのちや平和を静かに語りかけるこの文学書をコンセプトにした"日西の文化と音楽のお祭り"は、以下の4つのカテゴリーから構成され、ここに集う人々の真なる交流を願います。

A. 音楽祭

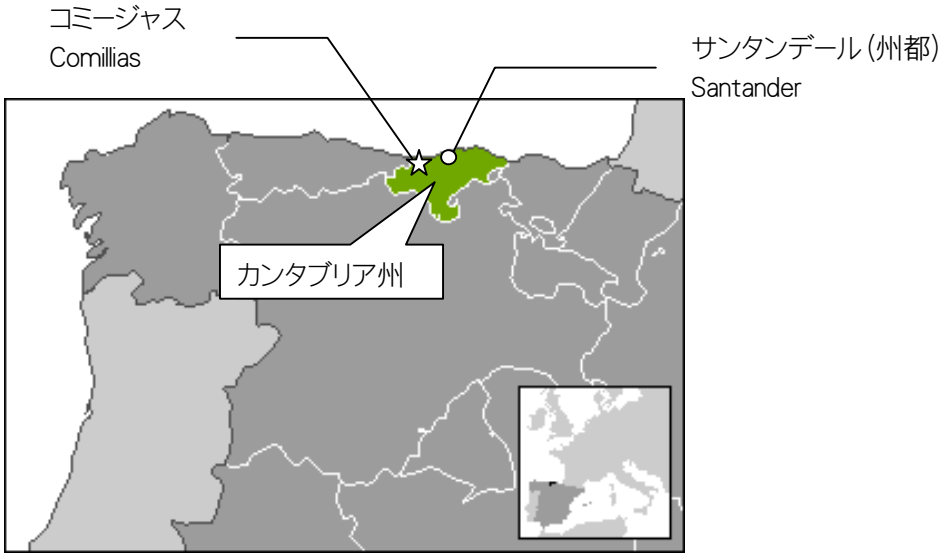
B. ワークショップ

C. 食祭り

D. 展示

「一つの花フェスティバル」は、スペインの以下の機関から招聘を受けました。

- スペイン・カンタブリア州政府文化・観光庁
- スペイン・カンタブリア州政府教育庁下・カンタブリア州音楽院
- コミージャス村長
- コミージャス大学財団
- サンタンデール市立音楽院



フェスティバル開催地：コミージャスについて

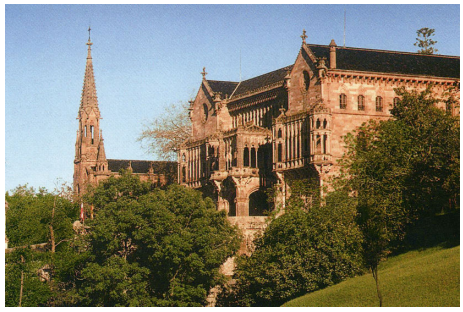
北スペインのカンタブリア州に位置するコミージャスは、アントニオ・ガウディの最初のパトロンの出身地あることから、至るところにガウディの足跡が見えます。
ガウディの初期の建築『エル・カプリーチョ（写真①）』や、人や車が通る通称『ハトの門』、また、小高い丘から村を見下ろす『コミージャス キャンパス（写真③）』は、19 世紀末ガウディが家具職人の養成を進言したことが起源となっています。この大学は、ガウディの師であるワン・マルトレールが計画して施工はガウディのクラスメート クリスバール・カスカンテが行ったすばらしい建築です。
いずれも、日常生活の基礎となる日々の暮らしのなかに“芸術”という潤いと、“教育”という後世までの人づくりを重んじていることが垣間見られます。
コミージャスは、芸術・教育を柱とした「一つの花」フェスティバル開催の地にふさわしく、ここでの人々の真なる交流を願うものです。（written by S.Funabashi）

<フェスティバル会場>

■コミージャス
・サンクリストバル教会
・旧市役所
・コミージャス役場
・エル・カプリーチョ

■サンタンデール（州都）
・カンタブリア大学
・サンタンデール音楽院
・タンティン劇場（カンタブリア銀行）

①エル・カプリーチョ El Caprichio
アントニオ・ガウディ初期の建築。
街のシンボル



②パラシオ：コミージャス公爵邸
Comillas Sobrellano Palace

③コミージャス大学 Comillias Campas

フェスティバル詳細

【A】音楽祭

1.「横笛の響き」
出演：鯉沼廣行（横笛）金子由美子（横笛）、会場：サンクリストバル教会

2.「スペイン・日本ギタートリオ」
出演：ハビエル・C・ルイス（ギター）、木村悟（ギター）、明石現（ギター）、会場：サンクリストバル教会

3.「ギターと朗読」
出演：木村悟（ギター）、明石綾（朗読）、会場；旧市役所

4.「スペイン・フルーティストとアラブ宮廷音楽ウード」
出演：常味裕司（ウード）、ララ．M（フルート）、会場：旧市役所

5.「アラブ、ヨーロッパ、二つの音の世界の邂逅」
出演：常味裕司（ウード）明石現（ギター）、会場：サンクリストバトル教会

6. 前夜祭（出演者全員によるガラコンサート）、会場：タンティン劇場（サンタンデール）

【B】ワークショップ

1. ガウディ研究家・田中裕也によるガウディ散策ガイド、会場：エル・カプリーチョ

2. 子供達による「一つの花」

3. 書表現作家・阿羅こんしん、場所：コミージャス役場

【C】食祭り

1. スペイン料理教室
スペインレストランでのスペイン料理の教室とお食事

2. 日本・スペイン食祭り ～ミニ信州そばまつり～
フード・ディレクター・山崎良弘が、全麺協認定第 10 代蕎麦打ち名人・赤羽章司、そば栽培農家、そば店主・斉藤彰久を伴い、信州そばと天ぷらとスペインメニューのコラボレートにチャレンジ。7月にスペインでそばの種を蒔き、10 月のフェスティバルでは収穫を祝う。

【D】展示

1. スペイン現代美術写真家ルベン・ガルシアのポップな写真展、会場：旧市役所

フェスティバル スケジュール

Santander（サンタンデール）

	10/9（火）	10/10（水）	10/11（木）
タンティン劇場 （カンタブリア銀行）			20:30～ **一つの花　ガラ・コンサート** ・出演者全員による前夜祭
サンタンデール音楽院 Conservatorio Ataulfo Argenta		**一つの花コンサート** ・子供たちによる“一つの花” ・日西演奏家によるミニコンサート	
カンタブリア大学	**映画講座** T.Fujiwara		

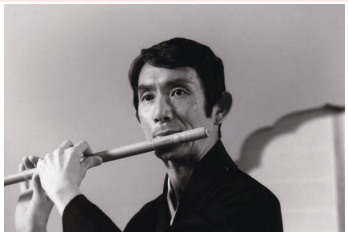
Comillas（コミージャス）

	10/12（金）	10/13（土）	10/14（日）
サンクリストバル 教会	20:30～ **日西・ギタートリオ** J.Canduela G.Akashi S.Kimura	20:30～ **フルート＆ウード** L.Manzano Y.Tsunemi	20:30～ **横笛の夕べ** H.Koinuma Y.Kaneko
旧市役所	18:00～ **ギター＆朗読** S.Kimura A.Akashi		18:00～ **ウード＆ギター** Y.Tsunemi G.Akashi
	写真展　（終日）　R.G.Escalante		
サンクリストバル 教会前広場		18:00～　※雨天中止 **横笛** Y.Kaneko	
エル・カプリーチョ （ガウディー建築）		11:00～12:00 **スペイン料理教室**/close 16:00～ **田中裕也** **ガウディー散策ガイド**/close	13:00～15:00 **信州ミニそば祭り** 18:00～19:30 **きち兵衛さんプライベートコンサート　toward　信州そば**
コミージャス役場	**こんしん展**　（終日）　K.Ala		
コミージャス散策			10:00～ **コミージャス散策** **サプライズコンサート** L.Manzano J.Canduera G.Akashi S.Kimura A.Akashi

最終更新日：2007.09.19

出演アーティスト PROFILE

H. Koinuma　[鯉沼 廣行]・・・横笛奏者

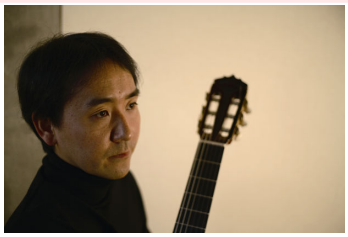


横浜生まれ。国立音楽大学卒業。日本を代表する横笛奏者。1984 年、黒澤明監督映画「乱」の演奏と横笛指導を担当。1994 年、NHK大河ドラマ「花の乱」、97 年「毛利元就」の横笛指導と演奏を担当。海外公演は、オーストラリア、ニュージーランド、フィンランド、ロシア、アメリカ、ブルガリア、フランス、イタリア、エストニア等多数。CD 作品「鯉沼廣行 横笛の世界」「天籟賦」「幻の笛」「千灯路」他。

J. Canduela　[ハビエル・カンドゥエラ]・・・ギタリスト

1959 年スペイン・サンタンデール生まれ。現在、サンタンデール音楽院の教授を務めている。ソリストとしてスペイン国内のほか、イギリス、フランス等でも演奏活動を行っている。2002 年“ブラジル発見 500 年祭”の祝典式(ブラジル、ポルトガル領事館主催)にてコンサートを行う。また、サンタンデール国際ジャズ・フェスティバル“ジャズの夜”に出演。2004 年には“ワン・ワールド・ビート”国際フェスティバルに出演するなど、数多くの音楽祭への招待演奏をしている。近年は、ギター、ダンス、朗読、映像による“Guitarte Gaudi”(ガウディ)をプロデュース。

G. Akashi　[明石 現]・・・音楽監督・ギタリスト



1968 年生まれ。1990 年、オーストリア・ウィーン市立音楽院に留学。1997 年、東京オペラ・シティに於いて「19 世紀ギター・リサイタル」で楽壇にデビュー。以後、オーストリア、ルーマニア、イギリス、スペイン等、多くの海外公演を行っている。2006 年スペイン・カンタブリア州政府より演奏の招聘を受ける。様々なジャンルのアーティストとの共演、映画、舞台音楽の作曲・演奏、AM・FM ラジオ番組ゲスト出演等、多彩な活動が注目されている。CD 作品「オール・ワルツ」「リアル・ラヴ」他。

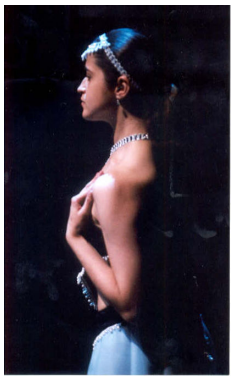
L. Manzano　[ララ・マンサノ]・・・フルーティスト

スペイン・ビルバオの上級音楽院 Juan Crisostomo Arriaga を首席で卒業後、英国のギルドホール音楽院へ留学し演奏家ディプロマを取得。バッハのブランデンブルク協奏曲のソリストして、アンダルシア、UK、ドイツをツアー。また、Concentus Chamber Orchestra を始め、数々の室内管弦楽団と共演。その他、スペイン、イギリスにてマスタークラスの講師として活躍する。

Y. Tsunemi　[常味 裕司]・・・ウード奏者

東京生まれ。アラブ宮廷音楽を代表する楽器ウードの演奏法をスーダンのウード奏者ハムザ・エル=ディン氏のもとで学ぶ。89 年チュニジアへ渡りアラブ世界を代表するウード奏者アリ・スリティ氏(チュニス国立音楽院ウード科教授)に師事。93 年チュニジアではチュニス国営 TV にてチュニジアのウード演奏家モハメッド・Z・E・アービディーン氏と共演。その他、チュニジア、サウジアラビア、エジプト、トルコ、アラブ首長国連邦他、各大使館主催コンサートで演奏、晩餐会では皇太子御夫妻、秋篠宮御夫妻御前演奏を行う。大阪花博、琵琶湖芸術際、京都遷都 1200 年コンサート、中東学会、国連大学等、ウード奏者として第一線での演奏活動が注目される。CD 作品「STOY」「Arabindia」他多数リリース。

A. R. Campo　[アロア・ルイス・カンポ]・・・バレリーナ



1989 年セビリアの国立コンセルバトリーのバレエコースで学ぶ。2000 年バレエの最高機関 Alicia Alonso Universidad で クラシックバレエの学位を取得。チャイコフスキー「くるみ割り人形」、ラヴェル「ボレロ」他、ハイドン、ヴィヴァルディ、グリークの作品に出演。2004 年ハビエル・カンドゥエラ演出「ガウディ」DVD に出演。2007 年「一つの花フェスティバル」では、ギタリスト・明石現と共に、日本の児童文学「一つの花」を発表予定。

S. Kimura　[木村 悟]・・・ギタリスト

1999 年 スペイン・マドリッド上級王立音楽院卒業 titulo de professor（上級器楽音楽教師）の資格を取得。同年、イタリア・ベルチェッリにてギター楽曲分析をアンジェロ・ジラルディーノ、ルイジ・ビスカルディの各氏に師事。1998 年 第 5 回アンドレス・セゴビア国際コンクール（スペイン・リナレス市）3 位入賞。2000 年 第 3 回ピエトラ・リグーレ国際コンクール、ギター部門 2 位入賞（イタリア・ピエトラ・リグーレ）

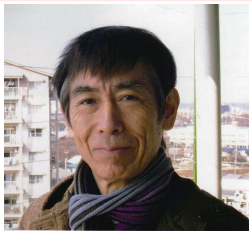
Y. Kaneko　[金子 由美子]・・・横笛奏者

1981 年、横笛・能管を鯉沼廣行氏に師事。国内各地および海外で演奏活動を行う。主な演奏活動：1993 年秋田「八幡平音楽祭」出演。サンフランシスコ「日本の演奏家によるアンサンブル」出演。1995 年奈良「談山神社 大化の改新 1350 年祭」出演。広島「厳島神社 1400 年記念芸能祭」出演。1996 年フランス「サンフロラン音楽祭」出演。2002 年エストニア2都市でコンサートを行う。2003 年エストニアのタルトにてコンサートを行う。CD 作品「かぎろひ」

H.Tanaka　[田中 裕也]・・・建築家/ガウディ研究家

1952 年北海道稚内市で生まれる。1981 年スペイン国費留学生となり、1992 年カタルニア工科大学バルセロナ建築学部より建築家工学博士号を取得。1993 年バルセロナ・ユネスコ協会による田中裕也作品展と講演を行う。1998 年東京ビッグサイトでのガウディ展に国賓として招請。1998 年メキシコ・ベラクルスでユネスコと地元遺産保存機関 INAH 主催で 16 世紀の城塞の修復プロジェクト技術指導を行う。2002 年アントニオ・ガウディ財団による田中裕也展。その他、ガウディ研究家として、第一線で活躍している。また、2004 年にノーベル賞に次ぐ芸術・文化部門のスペイン王子賞の芸術部門でノミネートを受ける。名実ともにガウディ研究家の第一人者として知られている。執筆では「ガウディ建築実測図面集」「ガウディのひと言」他。

K. Ala　[阿羅 こんしん]・・・書表現作家



1965 年早稲田大学卒業。養護学校教員を経て、1997 年千葉の教育系短期大学の教授に就任、退職後、書表現作家として'人との対話から出た思いを文字にする' 個展・作家活動を展開。日本全国を始め、ベラルーシ、ルーマニア、ベトナム、NY、スペイン他、各地で精力的に展開している。NYのグランド・ゼロに毎年、9月 11 日に訪れ、「こころに花を mission」で「和解の幟」を製作・発表し、遺族のやり場のない思いをその幟に刻ませている。

T. Fujiwara　[藤原 稔三]・・・演出家

1956 年生まれ。NYアクターズ・スタジオとネイバーフッド・プレイハウスの演技メソッドを学び、黒澤明、北野武、フレッド・スケピシ等の映画に出演。その他舞台・テレビドラマ多数の作品に出演。現在では、舞台脚本・演出で良質の舞台を作り上げている。中でも「ガウディ」、自らがメガフォンを取った映画「シアター」の評価は高く、「シアター」は 2005 年 USA・ヒューストン国際映画祭でブロンズ賞を受けている。2004 年にはスペイン・ヒメネス財団招聘でスペイン3都市を公演演出で巡る。

A. Akashi　[明石 綾]・・・総合プロデュース・朗読者

1987 年 TBS ドラマ向田邦子新春ドラマスペシャル「麗子の足」でデビュー。以後、連続ドラマレギュラー、ゲスト主役等多数の TV ドラマに出演。1997 年より、朗読と音楽 'リサイト・ア・ポエム' シリーズを全国で展開。2004 年には、スペインのノーベル文学賞作家J.R.ヒメネス財団より招聘を受け、スペイン3都市にて、朗読、ギター、パントマイムの公演を行う。2002 年、2004 年、朗読と音楽の CD アルバム「The wind in the willows」「人魚姫」をリリースしている。

R. G. Escalante　[ルベン・ガルシア・エスカランテ]・・・現代美術写真家

1971 年 4 月 29 日マドリード生まれ。カンタブリア州在住の現代美術写真家。

Y.Yamazaki　[山崎 良弘]・・・食祭・総合ディレクター

1955 年愛知県岡崎市生まれ。上智大学イスパニア語学科卒。1976 年 メキシコ州立自治大学留学。名古屋のブラザー工業勤務を経て、現在、松本あさま温泉の旅館ホテル玉之湯の社長。自らそばも打ち宿泊客に提供する傍ら、信州地元そば祭りの実行委員会の事務局を務める。一つの花フェスティバルでは、そば文化をスペインへ運び、そばの花を咲かせる予定。7 月に 全麺協認定第 10 代蕎麦打ち名人・赤羽章司、そば栽培農家、そば店主・斉藤彰久らとスペインに信州そばの種を蒔き、10 月の祭典では、そば収穫を祝い、日西食祭を決行予定。ガウディ建築物エル・カプリーチョで、日西の食祭りの総合ディレクターを務める。